

## アトムフリー・ヤーパン (Atomfree Japan) 活動一覧

2011年12月30日

(2011年)

- 12月9日 『ドイツのクリスマスプレゼントを飯舘村・福島の子供たちへ』飯舘村の小中学校を訪問し、オーガニックチョコなどドイツからのクリスマスプレゼントを手渡した。
- 10月5日 ドイツ・週刊全国紙「ディ・ツァイト (Die Zeit)」掲載、福島への支援を訴えかける。
- 9月17日 ベルギー・ティオンジュ市のデモに参加  
ドイツ語、フランス語、オランダ語でスピーチ&日本語シュプレヒコール
- 9月4日 ドイツ全国放送局「WDR」の報道番組「ブリックpunkt (Blickpunkt)」に出演、ドイツから福島の子供達へクリスマスプレゼントを送る計画を発表。
- 8月13日 シュトゥットガルト市のデモに参加 スピーチ&日本語シュプレヒコール
- 8月8日 ドイツ・みどりの党、連邦議会議員ベアベル・ヘーン女史 日本講演通訳
- 7月19日 新潟県三条市、福島県飯舘村・南相馬市へ公式訪問。  
~23日 住民の方々の避難状況、支援活動の具体的方策について面談。
- 7月20日 ドイツ全国紙「フランクフルター・ルントシャオ (Frankfurter Rundschau)」掲載、日本の原発を取り巻く状況、福島への支援をテーマにインタビューを受ける。
- 6月20日 ドイツ・アーヘン市の脱原発集会に参加 スピーチ&日本語シュプレヒコール
- 5月28日 ドイツ・ボン市の脱原発デモに参加 スピーチ&日本語シュプレヒコール
- 5月18日 ドイツ・みどりの党、連邦議会議員ジルビア・コッティング女史 日本訪問  
被災地域・浜岡原発視察同行通訳、講演通訳
- 5月17日 京都、日独チャリティコンサートオーガナイズ  
(演奏：ドイツ・ソプラノ歌手、アイリカ・クリシャル/ピアニスト、小林春仁)
- 4月12日 「ドイツ・オーガニックを福島の子供達へ」ベビーフード、スープなどの安全な食品を  
NGO団体や行政機関を通して福島の避難生活中の子供達へ届けた。
- 3月31日 静岡県知事・川勝平太氏宛に、浜岡ストップの活動に寄せられた日独賛同者の方々からの  
500件の署名と見解・意見を書面にて郵送。
- 3月24日 日独イニシアチブ「アトムフリー・イーストウェスト」発足  
ホームページアドレス [www.atomfree-eastwest.com/jp](http://www.atomfree-eastwest.com/jp) (日独二カ国語)
- 3月17日 「浜岡ストップ」 静岡県、浜岡原発の即時停止を求める日独の賛同者を募集開始。

(2010年)

- 10月19日 「上関ストップ」  
山口県上関市、祝島対岸で建設が計画されている上関原発の反対運動へ参加、  
また、それに関わる詳細な資料をドイツへ伝えるべく独訳。



2011年9月17日、ベルギー・ティオンジュ市の脱原発デモでスピーチ。「ダメダメ原発、やめよう原発！」の日本語シュプレヒコールをドイツ、ベルギー、オランダの参加者と実施。

Youtubeでその様子が見られます。「DEMO AKW Tihange Belgium」で検索して下さい。

5月28日のドイツ旧首都のボン市での同様のアクションをきっかけに、これまで計4回スピーチシュプレヒコールを行った。こちらもYoutubeより視聴可能。「ドイツから日本へ脱原発のシュプレヒコール・ダメダメ原発！」



2011年7月22日、23日の2日間に渡り、福島市、南相馬市、飯舘村を視察。各地の被災状況を実際に確認、また飯舘村菅野村長や市民団体の方々など幅広く面談。

避難中の方々を訪問し、ドイツからの支援活動について具体的な内容を検討。「99のクリスマスバッグを福島の子供達へ」の活動の発端となった。



2011年5月18日、ドイツ緑の党連邦議会議員ジルピア・コッティングウール女史（写真右）の通訳。浜岡原発の視察にも同行、通訳。



2011年8月8日、ドイツ緑の党連邦議会議員ベアベル・ヘーン女史（写真左）の通訳。福島への具体的な支援についても党本部への協力を働きかけている。